

令和7年度自衛隊統合演習(実動演習)について

【演習の目的】

我が国防衛のための自衛隊の統合運用について演練・検証し、自衛隊の統合運用能力の維持・向上を図るために実施します。

【演習の沿革】

自衛隊統合演習は平成18年度統合運用体制移行後、18回目となります。実動演習と指揮所演習を毎年交互に行なっており、本年度は実動演習を実施します(実動演習は10回目)。

【演習の実施場所】

日本周辺海空域、自衛隊施設、米軍基地等において、様々な訓練を実施します。

【演習の実施期間】

令和7年10月20日(月)から10月31日(金)までの間(前後に準備期間及び撤収期間を設定)で予定しています。一部には夜間及び土日を含む演習となりますが、皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

【演習の内容】

演習の目的に基づき、我が国防衛のための自衛隊の行動を演練します。このため、陸上、海上、航空作戦及び統合輸送等の全てを包含した総合的な演習となります。我が国防衛のための自衛隊の即応性を向上させることを通じ、皆様の安全・安心確保に資することができるものです。

令和7年度自衛隊統合演習(実動演習)について

Map labels: 吉林, 北朝鮮, 大韓民国, 日本, 日本海, 両海, 浙江, 台湾, 東三海.

空挺作戦

統合防空ミサイル防衛訓練

水陸両用作戦

統合対艦攻撃訓練

※九州及び沖縄におけるシミュレーション訓練を含む。

その他関連する訓練

- 統合後方運用
- サイバー攻撃等対処
- 協同基地等警備
- 宇宙作戦
- 統合電磁波作戦
- 統合通信

令和7年度自衛隊統合演習(実動演習)の 佐賀県における訓練について

本演習において佐賀県内で実施する訓練は、

- ① 陸上作戦(協同基地警備訓練)
背振山分屯基地
- ② 水陸両用作戦(飛行訓練)
佐賀駐屯地
- ③ 統合通信訓練
八幡岳

を予定しています。

訓練内容は調整中であり、今後調整により変更の可能性があります。

佐賀県内で実施を検討している訓練内容

①陸上作戦(協同基地警備訓練)

陸上自衛隊及び航空自衛隊の部隊が背振山分屯基地に展開し、各部隊による基地警備訓練、防護施設の構築訓練、小型無人航空機の飛行訓練を実施します。

なお、実弾は使用せず、小型無人航空機は人口密集地の上空を飛行しません。

【期 間】 令和7年10月18日(土)～10月28日(火) ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を含む
※夜間訓練、空砲使用を含みます。

【参加部隊】 陸上自衛隊(第4師団 第40普通科連隊)、
航空自衛隊(西部防空管制群、第8航空団、第43警戒隊)、情報本部

訓練予定場所

【凡例】

○:訓練場所(自衛隊のみ)



人数等

基地	展開する部隊
背振山分屯基地	第40普通科連隊等 約50名

訓練イメージ



警備訓練



防護施設構築訓練



小型無人航空機の飛行訓練

佐賀県内で実施を検討している訓練内容

②水陸両用作戦(飛行訓練)

陸上自衛隊オスプレイが佐賀駐屯地から相浦駐屯地、上五島空港などへ飛行し、水陸機動団の隊員を輸送する訓練を実施します。佐賀県では、佐賀駐屯地での離着陸を実施します。

【期 間】 令和7年10月20日(月)～10月31日(金) ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定

【参加部隊】 陸上自衛隊:水陸機動団、第1ヘリ団(V-22×4機)※機数は増減する可能性があります。

【参加人員】 陸上自衛隊:水陸機動団約100名
※昼間及び夜間訓練を実施します。



訓練イメージ



陸自：V-22（オスプレイ）

佐賀県内で実施を検討している訓練内容

③統合通信訓練

陸上自衛隊の通信部隊が展開し、各部隊による通信訓練(無線・中継)を実施します。通信訓練においては電波を発射しますが、住民のみなさまの生活、民航機の運航等に影響しない周波数を使用します。

【期 間】 令和7年10月22日(水)～10月25日(土) ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を含む
※夜間訓練を含みます。

【参加部隊】 自衛隊:陸上自衛隊(第4師団 第4通信大隊) 車両3両 人員6名

訓練予定場所



人数等

基地	展開する陸自部隊
八幡岳	第4通信大隊 約6名

訓練イメージ



通信装置(中継装置)等の
展開及び無線の送信